

- 「家庭一般」固有の内容
  - 衣生活の設計と被服製作
  - 食生活の設計と調理
  - 住生活の設計と住居の管理
  - 「生活技術」固有の内容
  - 家庭生活と情報
  - 衣食住の生活管理と技術
  - 家庭生活と電気・機械
  - 家庭園芸
  - 「生活一般」固有の内容
  - 家庭生活と情報
  - 家族の健康管理
  - 衣生活と被服製作
  - 食生活と調理
  - 住生活と住居の計画
  - 乳幼児の保育
- いずれの科目も目的達成のために実践的・体験的学習を中心として計画することが必要であり、総授業時間の十分の五以上を調査・研究、観察などを含む実験・実習に配当して学習させ、単なる知識や技術の習得に終わることなく、それらを活用して、各自の家庭生活や地域の生活の充実向上を図る実践的な態度を育てるようにする。
- （「生活一般」の指導内容と実験・実習を伴う指導内容例 表2）
- 五 平成六年度入学生の家庭科の履修状況（表3）**
- ・履修科目別大学科数

表2 「生活一般」の指導内容と実験実習を伴う指導内容例

内 容	標準時間数	実験・実習を伴う指導内容例
(1) 家族と家庭生活 ア 家庭の機能と家族関係 イ 家族の生活と家庭経営 ウ 生活設計 エ 高齢者の生活と福祉	14～16	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビデオ視聴による家族問題演習</li> <li>●コンピュータによる生活設計の立案と検討</li> <li>●高齢者の生活への理解（施設見学やボランティア活動への発展）</li> </ul>
(2) 子供の成長と親の役割 ア 青年期の生き方と結婚 イ 乳幼児の成長と生活 ウ 親の役割と家庭生活	12～16	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビデオ視聴による性に関する教育</li> <li>●乳幼児の観察実習</li> <li>●親と子のかかわりに関する諸問題のロールプレイングによる演習</li> </ul>
(3) 家庭経済と消費 ア 家庭の経済生活 イ 消費生活と消費者としての自覚 ウ 生活情報の活用	12～14	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータによる生活診断と家計管理</li> <li>●商品テスト</li> <li>●ビデオ視聴、ロールプレイングによる消費者教育</li> </ul>
(4) 家族の健康管理 ア 衣生活 イ 食生活 ウ 住生活	26～32	<ul style="list-style-type: none"> <li>●被服材料実験（繊維及び布の性質）</li> <li>●被服製作実習</li> <li>●献立作成実習</li> <li>●調理実習</li> <li>●インテリア実習</li> <li>●ライフステージに応じた住居</li> </ul>
(5) 衣生活と被服製作 ア 服飾デザイン イ 被服製作 ウ 手芸	20～35	<ul style="list-style-type: none"> <li>●服飾デザイン演習</li> <li>●カラーコーディネート実習</li> <li>●被服製作着装実習</li> <li>●手芸実習</li> </ul>
(6) 食生活と調理 ア 食事の計画 イ 調理	20～35	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家族の食事計画演習</li> <li>●調理実験・実習</li> <li>●献立作成</li> </ul>
(7) 住生活と住居の計画 ア 家族周期を住生活 イ 住居の設計 ウ インテリアデザイン	20～35	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家族形態、ライフスタイルに応じた平面計画</li> <li>●インテリア実習</li> </ul>
(8) 乳幼児の保育 ア 母性の健康と生命の誕生 イ 乳幼児の発達と心理 ウ 乳幼児の生活と遊び	20～35	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビデオ視聴による性及び母子健康に関する指導・保育実習（施設による観察実験）</li> <li>●児童文化財の製作</li> <li>●施設訪問</li> </ul>
(9) 家庭生活と情報 ア 情報の収集と選択 イ コンピュータ活用 ウ 家庭生活とコンピュータ	20～35	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータの基本的な操作 プログラム作成、文書作成 簡易ソフトウェアを用いた表計算、作表、図形処理など</li> </ul>
(10) ホームプロジェクトの実践と学校家庭クラブ活動	8～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各自のホームプロジェクト発表会（視聴覚機器）</li> </ul>

の指導内容は、「家庭一般」「生活技術」及び「生活一般」の3科目に共通に学習する。

- （全日制・定時制一〇〇校）
- 「家庭一般」 八七学科（六〇％）
- 「生活技術」 一学科（一％）
- 「生活一般」 五六学科（三九％）
- ・履修単位別大学科数
- （全日制・定時制一〇〇校）

- 五単位以上履修 二学科
- 四単位履修 一四一学科
- 三単位履修 一学科
- （資格取得のため特に一単位減）

**六 施設・設備の整備について**

家庭科の施設・設備の未保有校は男子普通高校、職業高校（工業高校、水産高校）の十六校であり、平成四年度からこれらの学校すべてに新築